

事業報告書（指定管理者による自己評価）

1 指定管理施設及び指定管理者の概要

指定管理施設	名 称	文化記念・曽根臨海公園内スポーツ施設
	所 在 地	北九州市小倉南区田原五丁目1－2他
指定管理者 （自己評価者）	名 称	総合緑地建設株式会社
	所 在 地	北九州市小倉南区大字合馬 301 番地
指定期間		令和7年4月1日～令和12年3月31日
事業報告（自己評価）の 対象期間		令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 企画提案事業・自主事業の実施状況（対象：自己評価の対象期間）

企画提案事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
キッズスペースの設置	☒	○	
フリーWi-Fi 設置	☒	○	
第5会議室条件付き解放	☒	○	
庭球場冬期ナイター利用	☐	○	
夏期子どもお楽しみ企画	☒	○	
自主事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
釣り堀	☒	○	
ドッグプール&ラン	☒	○	
空気入れ	☒	×	来年度実施予定
ドリンク等販売	☒	○	
水泳教室	☒	○	
健康教室	☒	○	
スローエアロビック教室	☒	○	
げんきん体操教室	☐	○	
竹細工教室	☒	×	講師の都合等により、

			健康相談会を代替実施
キムチ教室	☑	×	講師の都合等により、 季節料理会を代替実施
健康診断	☑	○	
貸農園	☑	×	小倉南区役所と協議中
文化記念ノルディックウォーキング教室	☑	○	
プールサイドレンタル	☑	○	
テニス教室	☑	○	
テニス大会	☑	○	
ソフトテニス教室	☑	○	
サッカー大会	☑	○	
ソフトボール教室	☑	○	
スポーツ大会	☑	○	
キッチンカー	☑	○	
臨海ノルディックウォーキング教室	☑	○	

※応募・申請時の提案書や毎年度の事業計画書等に記載の事業を記入してください。

3 自己評価結果

評価項目及び評価のポイント		自己評価
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		
(1) 施設の設置目的の達成		評価レベル (0～5)
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。		4
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。		
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。		
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。		
【評価の理由、要因・原因分析】		
① スポーツ教室の実施及び健康相談会等を実施し、スポーツの普及と健康促進に努め、スポーツや健康に興味を持っただけよう取り組んだ。また、地域の特性を生かしたノルディックウォーキング教室を開催した。それぞれたくさんの方に参加いただき、スポーツ振興に貢献した。 『親子プールフィッシング体験』においては、スポーツフィッシング及び「食育」を目的とし、プールエリア及び調理室の利用など施設を最大限活用した取り組みとなっ		

た。

自主事業『ドッグプール&ラン』『親子プールフィッシング体験』『ランニング教室』をプール営業期間外のプールエリアの活用のため実施した。

- ② 文化記念管理棟内第 5 会議室の床が固く滑りやすいと以前よりお声をいただいております、長年にわたる劣化（汚れやひび割れ等）が多数見受けられたため、この機会にスポーツ施設として利用しやすいよう、「滑りにくい」「足への負担を軽減」等を考慮した床材へと新調した。見た目も明るく、清潔・安全・快適になり使いやすくなったと、利用者の皆様からお喜びの声をいただき、利用率アップにつながった。

集客のため多種多様な自主事業を開催し、未利用者の方々には、まずは施設を知っていただき、施設利用につながるよう多くの方々とコミュニケーションをとった。

- ③ 適宜情報の共有を行い、施設長がとりまとめスムーズな運営を行った。

- ④ 「ホームページ」「インスタグラム」「note」を積極的に活用し広報活動に力を入れた。主に若年層は SNS を中心に、公園及び施設利用者は館内チラシなどにより情報を得たうえで施設を利用いただいた。

※投稿数「ホームページ」36 件「インスタ」52 件

(単位：人)

【利用者数】	6 年度 (更新前)	7 年度 (1 年目)	8 年度 (2 年目)	9 年度 (3 年目)	10 年度 (4 年目)	11 年度 (5 年目)
要求水準		97,000	97,000	97,000	97,000	97,000
目標値		99,700	101,000	103,000	104,000	105,000
実績		111,501	—	—	—	—

※ ・・・評価対象年度

- ・今年度の利用者数について、施設の改善や多種多様な自主事業の実施、SNS 等を利用した広報活動により要求水準及び目標値を大幅に上回ることができた。

(2) 利用者の満足度

評価レベル
(0～5)

- | | |
|--|---|
| ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 | 5 |
| ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。 | |
| ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。 | |
| ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。 | |
| ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。 | |

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 大方、満足が得られていたが、一部不満に感じた方がいた点において、今後の課題として対策を検討し、100%満足していただけるよう多様なニーズに応えるべく PDCA サイクルの活用により改善に努める。
- ② 今季三萩野庭球場が工事によるコート数減少の影響もあり、利用者の声にお応えし、文化記念庭球場の 2～3 月の金・土曜日のみナイターの特別営業を実施した。186

名の利用があった。

アンケートの指摘項目に対して、以下の通り即座に改善・対応を行った。

- ・庭球場のネットが痛んでいる修理してほしい→ネット補修済み
- ・会議室ロビーでの靴の履き替え用の椅子が欲しい→会議室前に椅子を設置済み
- ・庭球場の1・4コート入口の⇒マークで間違えてコートに入ってしまう→POPを増やして対応済み、早急に看板の修繕を実施予定
- ・庭球場待合室の明かりがつかない→修繕実施
- ・庭球場コートの砂が少なすぎる→砂の補充済み
- ・臨海運動場のグラウンド周りの草木を刈ってほしい→草刈済み、木の剪定済み
- ・プール監視員の言葉がきつく感じた→状況把握、指導済み

意見・要望ボックスにより、誰でも気軽に匿名でも意見や要望が伝えられるよう設置した。

- ③ 苦情に対しては、すぐに対処可能なものであれば、その場で対処し、場合によってスタッフミーティングを行い、時間をかけず対処した。

- ④ インスタグラムやホームページの積極的活用、また、POPの館内掲示、公園だよりの発行、市政だよりのほか、近隣の市民センター、小学校や幼稚園にPOPの貼り出し等協力をいただき、様々な方法で分かりやすく、多様なニーズに応えるべく情報がいきわたるよう取り組んだ。

- ・インスタグラム アクセス数 49,012件 いいね数 73件 フォロワー数 83件
- ・公園だよりの発行 年/6回
- ・市政だよりの掲載件数 12件

- ⑤ プール営業期間中の日中の文化記念管理棟第5会議室の使用を制限していたが、利用者へのサービスとして制限付きで利用できるよう考案し、利用者の増加につながった。経年劣化による変色や壁の穴などが目立ち、不衛生であったため、文化記念管理棟第1・2・3会議室の壁紙の張替を行い、衛生的で快適に利用できるように改修した。

日々の清掃に加え、年2回の専門業者による大規模清掃を実施し、快適にご利用いただき、また利用したいと思っていただけるよう取り組んだ。

公園内及び、施設周辺のごみ拾いや側溝清掃を実施した。また、公園応援団へ登録をし、文化記念運動場内の除草作業を実施するなど、美観維持に努めた。

プール受付では、券売機を導入することにより、現金の取り扱いを極力減らし、ヒューマンエラーの回避、混雑緩和につながった。また、ロッカー導入により、安心・安全・清潔を保つことに繋がった。

施設利用満足度	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)
要求水準	%	80%	80%	80%	80%	80%
目標値	%	90%	90%	90%	90%	90%
実績	%	98.0%	—	—	—	—
有効回答数	人	402人				

※ ・・・評価対象年度

職員対応満足度	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)
要求水準	%	80%	80%	80%	80%	80%
目標値	%	90%	90%	90%	90%	90%
実績	%	98.8%	—	—	—	—
有効回答数	人	402人				

※ ・・・評価対象年度

- ・常日頃より利用者の「声」に真摯に向き合い、速やかに対応できるよう努め、スタッフ教育を重視し接遇研修などを強化することにより目標値を上回る結果となった。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

評価レベル
(0～5)

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ④ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

5

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 電気代節約のため LED 化を進めた。また裏紙利用やペーパーレス化など積極的に行うなど経費削減に取り組んだ。
各施設で日々の水道使用量の日報管理により無駄な使用や予期せぬ水漏れがないかチェックを行った。
- ② 再委託業者の選定では、一括委託ではなく業務別に個別に検討することとした。契約前に密な面談を行い信頼のおける業者を選定し、相見積もりにより最適な業者へより安価での契約がなされた。
- ③ 券売機及びロッカーの導入により、プールスタッフの人件費約 1,000,000 円削減となり、また、チケットが不要になった分印刷費約 300,000 円削減となった。

(単位：千円)

【支 出】		6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)
光熱水費	計画		8,798	8,798	8,798	8,798	8,798
	実績		7,298	—	—	—	—
修繕費	計画		5,936	5,936	5,936	5,936	5,936
	実績		7,436	—	—	—	—
その他管	計画		56,104	56,104	56,104	56,104	56,104

理運営費	実績		57,846	—	—	—	—
計	計画		70,838	70,838	70,838	70,838	70,838
	実績		72,580	—	—	—	—

※ ・・・評価対象年度

※人件費はその他管理運営費に含む

- ・特にプール水に関し、逆洗を効率的に行うことで、水道代を前年対比 415,551 円減 (17%) と大幅な削減となった。

水道代 令和6年度 2,434,628 円 令和7年度 2,019,077 円

使用水量 令和6年度 3,550 m³ 令和7年度 2,902 m³

(2) 収入の増加

評価レベル
(0～5)

- | | |
|--|---|
| ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。 | 4 |
| ② 使用料(利用料金)収入以外に、自主事業による収入や、企業などの外部からの収入(例:協賛金など)を獲得できているか。 | |
| ③ 自主事業による収益を活用した施設の魅力向上などの投資や、サービス向上などの指定管理業務や市への収益還元の取組みがなされたか。 | |

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 魅力ある自主事業を多数開催した。特に「親子プールフィッシング体験」により、322 人の集客があった。参加料等以外にも自販機の売り上げにも影響を与えた。
- ② 「親子プールフィッシング体験」では、(公財)日本釣振興会及び株釣研・(株)タカミヤからはノウハウだけでなく釣り竿や道具の無償レンタルやエサや参加賞などの提供を、北九州市食生活改善推進委員協議会からはボランティアスタッフを派遣していただいた。
- ③ 北九州市初となるプールでの「ドッグプール&ラン」や「親子プールフィッシング体験」など新たな取り組みを行った。営業期間外でのプールの活用による施設の有効利用にもつながった。

(単位:千円)

【収 入】		令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
指定管理 料収入	計画		70,838	70,838	70,838	70,838	70,838
	実績		72,580	—	—	—	—
自主事業 収益還元	計画		1,186	1,186	1,186	1,186	1,186
	実績		1,741	—	—	—	—
計	計画		72,024	72,024	72,024	72,024	72,024
	実績		74,321	—	—	—	—

(単位：千円)

【収 入】	6 年度 (更新前)	7 年度 (1 年目)	8 年度 (2 年目)	9 年度 (3 年目)	10 年度 (4 年目)	11 年度 (5 年目)
使用料実績		9,616	—	—	—	—

※ ・・・評価対象年度

<指定管理業務への収益還元の状況>

(単位：千円)

【実績】	6 年度 (更新前)	7 年度 (1 年目)	8 年度 (2 年目)	9 年度 (3 年目)	10 年度 (4 年目)	11 年度 (5 年目)
利益額		1,741				
還元額		1,741	—	—	—	—
還元率		100%	—	—	—	—

※ ・・・評価対象年度

・自主事業による収益を 100%指定管理料へ還元した。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

評価レベル
(0～5)

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

5

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 各施設の責任者及び副責任者には十分な経験者を配置、施設ごとの人数を適正化し、各スタッフの経験や能力に合わせた適材適所での配置を行った。
各施設で欠員が出た場合でも即対応できるよう、スキルミックスによる対応を行った。今年度、病気により 1 名が 1 か月間休業、男性社員 1 名の育休を 7 か月間取得などにも柔軟に対応した。
- ② 救急救命講習や接遇研修、暴力追放研修等を実施、またプール衛生管理者の取得者増、新たに初級パラスポーツ指導員、食品衛生責任者を取得し、各々が意識を高め、資質及び能力向上を図った。
接遇研修、安全教育等の研修を実施し、スタッフの質の向上に努めた。
スタッフ会議により、各施設における情報交換を行い適宜情報の共有を行った。
- ③ タカギウォーターウェーブ（株タカギ）の選手をコーチに迎え、近隣の田原中・曾根中・戸ノ上中学校のソフトボール部とソフトボール教室を開催し、学生のスポーツ能力の向上と教育機関及び近隣企業との連携を図った。
「親子プールフィッシング体験」の開催にあたり、『釣り』の面では、（公財）日本釣振興会及び株釣研・（株）タカミヤ、『食育』の面では、パネルの展示や調理サポートなど北九州市食生活改善推進委員協議会との協働により実施した。

道路サポーターへ登録し施設周辺の公園や周辺道路の日々のボランティア清掃や地域団体の清掃活動に参加、また、地域の方々と協働で花苗を植えた。

独自目標 【65歳以上雇用】	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)
目標値	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
実績	83.7%				

※ ☐・・・評価対象年度

・非正規雇用者 43 名中、高齢者雇用者 36 名と目標値を上回った。小倉南区在住者は 42 名であり、高齢者や地域住民の積極的な雇用に努めた。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

評価レベル
(0～5)

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

4

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 個人情報の取得にあたり、「北九州市個人情報保護条例」に基づき、収集・管理・利用・廃棄を適切に行った。個人情報の収集は最低限にとどめ、取扱いに関しては鍵付き書庫での保管、不要になった場合は速やかにシュレッダーにて廃棄し、第三者には絶対に開示しないよう徹底した。
- ③ 車いすの貸し出し、授乳室、救護室の利用などサービスの提供を行った。
初めての方や誰にでも分かりやすくするため、記入例やマニュアルを常備した。
- ④ 利用者が限定されていない施設
- ⑤ 収支を把握できるよう透明化し、施設長及び本社のチェックにより不適切がないよう務めた。また、定期的に税理士による内部監査を行った。
- ⑥ 小倉南消防署臨空分署署員 2 名による、救急救命講習及び AED の使い方講習を 6/16 に実施し、スタッフ 34 名参加した。
コンプライアンス研修、防災訓練、ハラスメント研修を行い、スタッフの意識向上に努めた。
夏季プール期間の熱中症対策として、プール場内でのドリンク販売、大型テント 2 張り増設、大型ミスト扇風機 2 台の設置を行った。
スポーツ教室参加者に熱中症対策として、スポーツドリンクを配布した。

AED は各施設に常備し、毎日機器状況及び消耗品使用期限の確認などチェックリストを元に点検を実施している。

消防訓練を年/2 回実施し、緊急時の対応や、消火器・消火栓の使い方を確認し、安全対策に取り組んだ。

⑦安全対策等研修や、施設の定期的な見回りを実施し、何かあった場合すぐに気づける体制を整え、ハザードマップを活用し日々の管理に役立て、防災・防犯等に備えた。日常点検に関する現地研修会への参加（11/14 施設長）

⑧8/26 プールでの事故発生時、緊急連絡体制表に基づき即座に連絡・報告・相談を行い対処した。

【総合評価】

〔全体的な評価・今後の対応等〕

- ・修繕費の有効的活用、長寿命化を図るだけでなく、利用者に快適に満足のいく施設へと改善できた。今後も光熱水費の削減に取り組み、十分な修繕費を確保し、より一層満足いただける施設を目指していく。
- ・スタッフ研修を適宜行うことで、スタッフの質の向上、意識の高揚に努めた。また、特にコンプライアンス、ハラスメント等の教育を重視した。
- ・SDGs への取り組みとして、ペットボトルキャップ・プルタブ回収を行い、ワクチン支援・車いす寄贈を目指し、社会貢献活動を行っている。
- ・地域貢献において捨て猫対策の実施をした。南区役所まちづくり整備課へ看板の設置を依頼した。また、駐車場に捨てられていた生まれたばかりの赤ちゃん猫を 2 匹、別日に子猫 1 匹保護し、地域ボランティアの方とともに飼い主探しとその間のお世話をし、無事に飼い主が見つかった。管理施設だけでなく、公園を良くしていけるよう南区役所とも連携を取り、より一層の地域貢献に努める。

『今後の取組』

- ・提案書に記載のある「農園」実施に向けての取組。
- ・近隣の市民センターや老人ホーム、介護施設等との繋がりに重点を置き、相互協力を模索し、より地域に根差した施設を目指し、広報活動の強化にも取り組んでいけるよう努める。
- ・安全・防犯対策とし、防犯カメラの設置を検討。

【評価レベル】

評価レベル		評価レベルの考え方
5	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営をおこなった
4	↑	要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営をおこなった
3	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営をおこなった
2	↓	要求水準・目標・計画を下回り、課題の残る管理運営となった
1		要求水準・目標・計画を大幅に下回り、大いに課題の残る管理運営となった
0	適切でない	不適切な管理運営となった

※この様式は外部にも公表する資料となります。

施設概要（文化記念・曽根臨海公園内スポーツ施設一覧）

No	施設名	設置根拠条例	所在地 (北九州市)	設置目的
1	文化記念プール (文化記念公園管理等含む)	北九州市都市公園、霊園、 駐車場等の設置及び管理に 関する条例	小倉南区田原五丁目1番2号	スポーツの普及及 び振興を図り、市 民の心身の健全な 発達及び明るく豊 かな市民生活の形 成に資する。
2	文化記念庭球場	北九州市都市公園、霊園、 駐車場等の設置及び管理に 関する条例	小倉南区田原五丁目1番2号	
3	曽根臨海運動場	北九州市都市公園、霊園、 駐車場等の設置及び管理に 関する条例	小倉南区大字曽根3267番2	